

給食室の窓から

2019.1

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

年末年始はどう過ごされましたか？ゆっくりお子さんと過ごす中で「今まで〇〇できなかったのに…いつの間に！」と、お子さんの成長を実感する場面がたくさんあったのではないのでしょうか。

同時に「いつになったら…できるのかしら？」と心配されていることもあるかと思います。進級のことが目になってくると、給食室には「お箸はいつからですか？」「いつまで手つかみすればいいですか？」「もう大人と同じものでもいいですか？」といった心配事やこのままでいいのかな？という不安事が聞こえてきます。今回は保育園でのスプーンやお箸をどこで判断しているのか？をお伝えしたいと思います。

保育園でもクラスや月年齢に関係なく、『食べこぼし』『詰め込み』『丸呑み』は子どもの食事の共通の悩める姿です。大切にしていることは、一人一人「なにができていくのか？」を見ることです。

【できないことを援助する】のが大人の介助です。できていることを見守りつつ、やろうとすることを援助します。

大人の援助の4つのポイント

- * 子供に合わせた食事形態
- * 子供に合わせた机・イス
- * 子供に合わせた食器具
- * 子供に合わせた食べさせ方



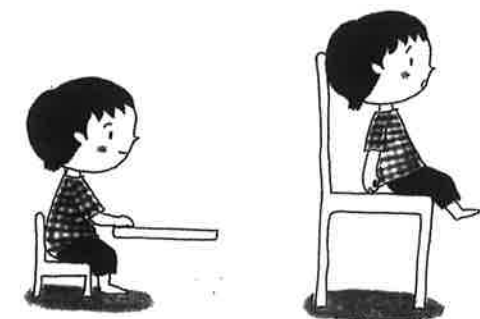
「噛まない」



「飲み込まない」
口にためている」



「丸呑み」



よい椅子とテーブル

- ◆足座が床につく
- ◆膝が曲がる (90度)
- ◆背盤が前傾している (90度以内)
食べものに向かう姿勢はピアノを弾いたり書字をしているのと同じで少し前に傾く
- ◆椅子の座面が広すぎず子どもの横幅に合っている
- ◆テーブルの上に肘・手がのる

よくない椅子とテーブル

- ◆足座が床につかず、ぶらぶらしている
- ◆膝が伸びている
- ◆背盤が後傾している
- ◆椅子の座面が広いと左右に傾く
- ◆テーブルが高いので、手をテーブルにのせようとするとき、肘が上ってしまう

スプーンの前に…。

・唇を閉じて取り込めていますか？・一口量は適量ですか？・舌を自由に動かしていますか？

・手つまみの時、押し込めずに噛み取れていますか？

お箸の前に…。

お箸が持てるには、親指と人差し指だけでなく中指も器用でなければなりません。

・スプーンをペンダグリップで持てますか？・ボタンを上手に止められますか？えんぴつ、ねんど、折り紙などの遊びや衣服をたたむなど、手指を使う動作がスムーズにできているか？が前提です。これらを遊びや生活にたくさん取り入れながら、箸が持てるように目と手が協応して使える力を養っていきます。

今できていることから、次に身に付けていきたい力をサポートし「自分で上手に食べる」「おしゃべりしながら楽しく食べる」社会性の中で食事をするを身に付けていきます。あせらずに見守りとサポートをしましょう。

保育園生活に欠かせない給食

～保育の無償化！その中身を考える～

来年度の消費税10%引き上げを機に「保育料の無償化」が国で検討されています。無償化自体は、保育関係者をはじめ保護者の願いでもありますが、同時に『給食費の実費負担』が盛り込まれていることは無視できません。

給食費が実費負担になると、給食の内容は？食育は？どうなっていくのでしょうか。不安のない無償化を願っています。